

松ぼっくりの里帰り大作戦 今後の活動予定

今回の植樹は、まだ私たちのゴールではなく、新たな交流のスタートです。将来、大きく育った松の下で、私たちの子どもや孫世代と一緒に3・11に何が起こり、そこから何を学び、何を感じたか。そういったことを語る日が来ることを目指しています。

<松の里帰り第二弾予定>

現在縁プロジェクトでは、来春の松の里帰り第二弾に向けて、東松島市との調整を行っております。震災前、人々の暮らしを守り続けた松林は、現在ほぼ壊滅状態のままです。海からの冷たい風、砂嵐、そして津波から人々の暮らしを守る松林の一部として、大田区育ちの松が根付いてくれるようお願いしません。引き続き種からの発芽、苗木の栽培にご協力いただける団体を募集しております。また、縁プロジェクトでは今回植樹をした苗木の育成を見守っていきます。来春の里帰り第二弾に合わせて、植林地の草刈り、整地なども予定しております。これらの活動を東松島市民の皆様と協働で取り組み、松を発端とした末永い交流を目指してまいります。



今回の植樹に駆け付けてくれた、松仙小学校のぼっくりん&かさじい。松の妖精のふたりに見守られ、苗木は元気に育ってくれるはずです。今後も引き続き、松仙小学校の児童の皆さんにも苗木の栽培をご協力いただく予定です。



(浜市地区遠景)
震災を生き延びた松のかたわらに、子どもたちを植えてきました。



縁プロジェクトの会員募集

- 被災地復興支援ボランティア
- 防災セミナー運営スタッフ
- 松ぼっくりの里帰り大作戦運営スタッフ
- 絆音楽祭運営スタッフなど

▼縁プロジェクトホームページ
<http://otaenishiproject.jimdoo.com/>

一緒に活動しませんか

活動に共感いただける方のご支援・ご協力を随時募集しております。詳細はホームページよりお問い合わせをお願いいたします。

縁プロジェクト活動報告 共に歩む通信

No.5
発行日：
2016年12月11日
発行者：
縁プロジェクト
代表 仙 裕司
東京都大田区大森北 2-10-8
大田区 東松島市

松ぼっくりの里帰り大作戦 里帰り第一弾

平成 28 年 11 月 20 日 東松島市&大田区 友好都市記念植樹会 (野蒜ヶ丘)
平成 28 年 11 月 21 日 浜市地区 植樹

大田区は平成 28 年 11 月 12 日、宮城県東松島市との友好都市提携協定の締結式をボートレース平和島の水のステージで行いました。東日本大震災の際、大田区が東松島市に被災地支援本部を設置して5年が過ぎ、今後は観光やスポーツでさらに友好関係を築いていくこととなります。

縁プロジェクトでは、平成 24 年から毎年、絆音楽祭を開催し、住民レベルの交流を続けてきました。

今回、このような形で東松島市と大田区の新しい関係がスタートしたことは、縁プロジェクトとしても非常に嬉しく思っております。今後は「被災地支援」ではなく「友好」をテーマに、東松島市との交流を継続し、共に復興を見守ってまいります。



大田区から里帰りへ旅立つ「松子」

縁プロジェクトでは、平成 25 年より「松ぼっくりの里帰り大作戦」を始動し、宮城県で採取した松ぼっくりから種を取り、大田区で発芽、栽培を続けてきました。活動には、城南信用金庫・大田区立松仙小学校の児童・大田区民・縁プロジェクト会員に協力をいただき、今回の植樹まで活動を続けることができました。

今回の植樹に向けて、「OTA ふれあいフェスタ」にて、苗木の回収を行いました。たくさんの里親が、大切に育ててくれた苗木を持参してくれて、なかには別れを惜しみ、涙を流す里親もおり、いかに愛情をもって育てていただけたかを実感することができました。

友好都市記念植樹会 (野蒜ヶ丘)



<松の里帰り第一弾>

この度の友好都市締結に伴い東松島市内 2 か所に、里親の想いの詰まった苗木を植樹することができました。「ひがしまつしま福幸祭」での植樹には、大田区立松仙小学校校長にもご参加いただきました。東松島市浜市地区の植樹には、大田区被災地支援ボランティア調整センターと多くのボランティアにもご協力いただき、約 60 本の本の苗木を植樹することができました。